

## はじめに

福井県では、平成10年3月に福井県新長期構想「福井21世紀ビジョン」をもとに、「生活満足度日本一・地球時代に光り輝く福井県」を実現するための施策の一つとして、「道路整備の将来ビジョン」を策定し、道路整備を進めてきました。

しかし、近年の経済低迷の長期化、更なる少子高齢化、国・地方を通じた厳しい財政状況、地方分権や環境問題など、道路行政を取り巻く経済・社会情勢が大きく変わり、これらに的確に対応した道路行政が必要となってきました。

また、政府の「構造改革と経済財政の中期展望」において、「公共事業の計画見直し、配分の重点化・効率化」の必要性が示され、公共事業の長期計画は、従来の「事業量」ではなく、計画の達成により得られる「成果(アウトカム)」を重点に策定することが求められています。

これらの背景を踏まえつつ、「福井元気宣言」に掲げる「元気な産業・元気な社会・元気な県土・元気な県政」の4つの政治ビジョン、特に「元気な県土」を実現すべく、新たな道路に関する「道路の将来ビジョン つくろう いかそう 福井の道」を策定しました。

特に、今回のビジョン策定においては、アンケートなどにより県民のニーズや地域の特性・実情を踏まえたうえ、各分野の代表者からなる「福井の道路を考える地方懇談会」から提言を受け、策定作業を進めました。

このビジョンでは、「地域をきずく道づくり」「地域をまもる道づくり」「地域をそだてる道づくり」という3つの基本方針と、「効率的、経済的な事業展開を図る」「県民にわかりやすい指標による評価を行う」「県民の意見を聞く取組みを進める」という3つの進め方を設定しました。

この中で、バリアフリー化の促進や、既存道路の有効活用、住民参画による計画の策定などを新たに織り込みました。

また、高速交通ネットワークや地域内交通網の整備については、引き続き促進し早期完成を目指すとともに、新たに成果に着目した指標を用いてわかりやすく例示し、今後の事業の進捗管理にも活用できるようにしました。

このビジョンに基づき、今後「道路整備プログラム」を策定し、真に県民が求める道路整備を進め、「元気な福井」をめざしていきます。